

室内機に抗ウイルスコーティング提案

ヨヨレ

中小の健康経営 ブライト500 に認定

有井 清社主



経営マッチソンに「お客様へ貢献する設備のコンビニエンスカンパニー」を掲げるヨコレイ

神奈川空調冷熱市場 特集

続けて体調を崩して入院したことにして、井社長が彼らに事情を聞くと「仕事が忙しくて健康診断を受けていない」という答えが返ってきた。有井社長はその言葉を重くうなづき、「社員の健康を社員任せにするのではなく、会社が社員の健康管理に関与するという考え方方に変化していく。その一つの取り組みが喫煙者対策だ。04年には有井社

シケルの担当者を招き、コロナ予防対策におけるストレスをテーマに講演してもらつた。同社では今後も社員の健康維持のため、健康経営推進チームを中心とした取り組みを実施する上、対策を講じていく。

同社は先進的な健康経営を実践していることで、厚生労働省の「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）認定法人」である約8千の法人のうち、上位500法人に選ばれたことを意味する「ブライト500」の認証を受けた。

そんな同社の健康経営の始まりは、2000年頃、ベテラン社員が2人

月個人面談する健康指導もスタートした。翌20年には横浜健康経営認証の最高位「クラスAAA」認証を受けた。またストレッチエック（第1回目）を実施したほか、07年より毎年実施しており13回目を迎えた「健康セミナー」を開催。今回はア

め洗浄で解決する場合もあれば、何年にも渡り『まだ臭う』と言われることもある。NRCは、こうした長年の悩みを解決できるのでほど期待している」(有井社長)。NRCをエアコン・室内機の内部にコーティングすれば、カビ等の発生を抑制し、空気の質の向上が期待できる。同社は今後パッケージエアコンや便器の設置時に、NRCを提案していく考え。なおNRCは、A型インフルエンザに対する99.97%の不活性効果が確認されている(北里環境科学センター)。また手紳士服メーカーが生地に織り込んで開発した実績や、鉄道や旅客機の化粧室等に採用された実績もあるという。

同社は来期、テレワーク環境の整備やITセキュリティ体制の構築に取り組む中で、BCP対策にも取り組んでいく。またSDGsの認証取得にも注力していく構え。

で、大手電機メーカー系のデーターラー等の民間案件がほとんどだった。だがその後、顧客が設備投資を控え始めたことに伴って発注量が減少。現では公共案件がそれまでに比べて多くなっている。

ところで、同社はこれまで顧客に喜んでもらうことをを目指し、依頼を受けたからの当日訪問率100%や、24時間以内の返信率も回復率ほぼ100%といった迅速かつ的確なサービスを提供してきた。以前であればそれを「回復率」として認めてもらっていたが、近年は同じ客先ならば「工事も命令で発注してもらうことが多い」といった状況だ。だが近年はサービスの客先でも、工事は価格勝負となるケースが増加している。有り難いことに、社長は「事業に対する考え方をリセットしなければいけない」と思つて、一と胸の内を明かす。

公共案件には、一般争入札の他に、実績や資格者数、認証等を評する総合評価方式がある。そこで同社は、民間案件でも、総合評価方式にていた受発注形態を提案することを模索している。また、同社は専門工事業との密接なパートナーとしての構築し、災害時のBCP対策など、同社による施工が提供できる旨の状況に「二石を投じい」と力を込める。

同社は来期、テレワーク環境の整備やIT、セキュリティ体制の構築を取り組む中で、BCP対策にも取り組んでいく。またSDGsの認証取得にも注力していく構え。

現場の週休二日を 公共工事で実現へ

神空衛

有井社長は、神奈川県空気衛生工学会(神空衛)の会長を務めており、この5月で任期は二期4年となる。

4月からの新年度、特に注力していくのが「施工現場の週休二日」の実現だ。横浜市では4月から発注者指定型の週休二日制が始まると、ここで取り組みを成功させ、公共工事から働き方を変えていく。

また最近、施工管理の現場では、設計図の不備・不整合が多く発しておらず、施工管理技術者がそれに時間を奪われている。本来、設計図を整えるのは発注者と設計者の責任であり、この点は声を大きくなりして問題提起を行う。加えて、現在首相の菅義偉氏は05年より神空衛の顧問を務めている。2050年のCO₂ネット排出量ゼロの政府目標に貢献するために、まずは地球温暖化ガスであるフロンの完全回収や漏洩ゼロの施工の徹底に取り組んでいきたい考え。